

平成24年度

# 町の家計簿を公表します

平成24年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。

皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

昨年度は、前年から引き続き東日本大震災の災害復旧事業を最優先に実施し、浄水場を除き事業が完了しました。

今後も、震災からの完全復興に向けた事業を進めるとともに、安心・安全な町づくりのための事業を推進していきます。

## 一般会計

歳入総額は、31億8120万3千円（前年度比11・8%減）、歳出総額は、28億2826万5千円（前年度比6・3%減）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、2億7402万4千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は、3億3100万円を積み立てましたので、年度末の残高は10億9435万8千円となりました。

歳入の21・6%を占める町税収入は、法人町民税と固定資産税が減少したため、8491万3千円（前年度比11・0%）減となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は9億9084万4千円で、2億263万円（前年度比17・0%）減となりました。地方交付税と町税で52・8%を占めています。

国庫支出金は、災害復旧費国庫負担金などの減少により、2億4286万4千円（前年度比47・4%）減となりました。

## 歳入

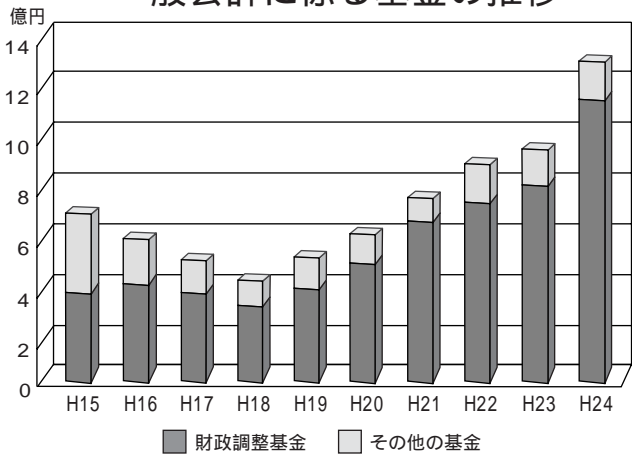
## 歳出

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常的経費が18億6406万8千円で、全体の65・9%を占めており、道路整備や災害復旧などの事業を行うための投資的経費は3億7655万5千円で、全体の13・3%となりました。

平成24年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

財政調整基金の残高が増えるなど、行財政改革の成果が徐々にあがってきている一方で、経常収支比率（経常的に収入される税金や交付税などのうち、経常経費として使われる割合）は89・0%と、依然として財政構造の弾力性の低い状態が続いていることから、持続可能な財政運営のため、さらなる経費の節減に努めていきます。

一般会計に係る基金の推移



## 平成24年度に実施した主な事業

- 東日本大震災災害復旧事業 2億1626万円
- 成田神崎線道路改築事業 4382万円
- 武田古原線道路改築事業 2443万円



全線開通の町道武田古原線